



発行:香川県広域スポーツセンター(〒760-8582 香川県高松市天神前6-1 香川県教育委員会事務局保健体育課内)  
TEL:(087)832-3762 FAX:(087)806-0235

## 報告 スポーツ庁各種補助事業について

### 子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン ～アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を活用した運動遊び促進事業～

#### (一社)スポーツフェライン高松が取り組みました!

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校の一斉臨時休校や全国でスポーツイベントが中止となるなど、**子どもの体力低下**が懸念される中、スポーツ庁が「子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン」を立ち上げました。

(公財)日本スポーツ協会が推進するACPを活用して、小学校や総合型クラブ、スポーツ少年団などが、**全国500ヶ所で運動遊びの体験活動を実施**。

香川県では、総合型クラブの(一社)スポーツフェライン高松が取り組みました。

クラブでは**テニス・サッカー・ティーボール**の3種目を実施し、ウォーミングアップやアイスブレイクにACPを活用しました。

また、12/6はNPO法人西高松スポーツクラブと、12/19は、高松市ティーボール連盟とそれぞれ連携して実施し、子どもの体力不足解消に寄与すると共に、団体間の交流にも繋がりました。



期日	種目	会場	参加者数
11/29(日)	テニス	銀星テニスクラブ	41名
12/6(日)	サッカー	香西芝山マリンランドグラウンド	63名
12/19(土)	ティーボール	四番丁スクエアグラウンド	53名

講師



#### 澤 宜英(さわ よしひで)氏

体育の教員や保育士の経験を経て、子どもの体力向上のため県内各地でACP普及に取り組んでいます。



#### 安部 武矩(あべ たけのり)氏

「たけのこ体育教室」代表。健康運動指導士など多数の資格を持ち、日々子どもの運動指導に係わっています。

ACPについて、詳しくは(公財)日本スポーツ協会HPで!

<https://www.japan-sports.or.jp/portals/0/acp/index.html>

### スポーツ活動継続サポート事業

スポーツ活動継続サポート事業 受託団体の割合(香川県)



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動自粛を余儀なくされたスポーツ関係団体や個人事業主に対して、**感染対策をとりつつ、活動の再開・継続を行うための積極的取組に必要な経費を支援**する事業です。

47都道府県で、合計2,468件の交付が決定しました。

香川県では、個人事業主・法人団体・任意団体あわせて27件に15,808,000円の助成をいただいております。うち**総合型クラブは3件で1,631,000円**でした。

新規会員獲得のための新規事業の実施や、リモートワーク環境整備のための備品購入など、有効に活用しました。



交付団体一覧はこちらから。(PDF/61枚)

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho\\_kyanpen/doc/corona/hojokin\\_kofu\\_ketteisha\\_ichiran\\_20210118.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/doc/corona/hojokin_kofu_ketteisha_ichiran_20210118.pdf)



バックナンバー(過去の通信)は、こちらからご覧いただけます。

(公財)香川県スポーツ協会HP <http://www.kagawa-sports.net/club/information.html>

# REPORT

## リモートワークアクション2020が開催されました。

日時	2020/12/21(月) 13:30~17:30(受付13:00~)	
実施方法	オンライン形式(Zoom)	
内容	全体プログラム1	① JSPOからの情報提供(50分) ② ブロック別協議の趣旨説明(15分) ③ 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の模擬申請(70分)
	ブロック別協議	④ 情報共有(40分) ・県版登録・認証制度創設に向けた検討状況について ・新型コロナウイルス禍において工夫を凝らし活動している事例の共有ほか
	全体プログラム2	⑤ 全体共有(30分)
対象者	SC全国ネットワーク各ブロック常任幹事 SC全国ネットワーク各県代表委員(県連絡協議会役員の代理出席OK) 県スポーツ協会担当者(1名まで) クラブアドバイザー その他(広域スポーツセンター担当者等)	

例年、全国9会場で実施している「ブロック別クラブネットワークアクション」が、新型コロナウイルスの影響により中止。その代替事業として、オンラインでの情報共有・交換が行われました。

四国ブロックでは、計12名(香川県からは3名)が参加。

ブロック別協議の情報共有では、登録・認証制度の進捗状況・課題などについて、活発な意見交換が行われました。



後日、YouTubeにて録画動画が配信されました。

## 登録・認証制度～今後のスケジュールと県内クラブからの声～



～8月	『香川県版制度(原案)』策定 中間支援組織のあり方、県連絡協議会のあり方について協議→方向性を決定
～9月	『香川県版制度(原案)』を県連絡協議会からJSPOに報告
10月～12月	JSPOで確認/修正
～R4年1月	『香川県版制度(確定版)』を県連絡協議会からJSPOに提出/承認
～R4年3月	登録審査委員会の設置、委員の任命

※R4年度は、登録基準を満たさないクラブも登録が可能。(書類審査のみ)

4月～7月	【登録希望クラブが準備すること】 -登録基準を満たす。 -一般団体向けガバナンスコードを満たし、JSCの「ガバナンスウェブサイト」で公表する。 -登録申請書類を作成する。
8月～	登録審査委員会による書類審査→県連絡協議会を通じて、JSPOにリストを提出
9月～11月	JSPOでリストを確認/承認
～12月	県連絡協議会を通じて、JSPOに登録料(5,000円)を納入

※R5年度以降は、登録基準を満たさなければ登録できない。  
※書類審査と並行して実地審査あり。

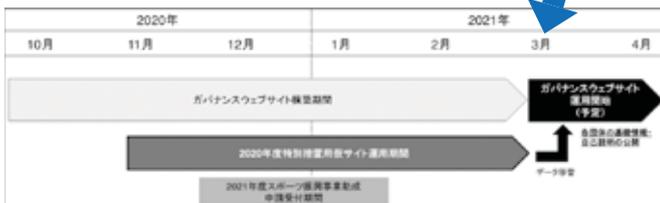
### 県内クラブからの声

(R3年1月6日～7日に Skype for Business で行われた県総合型クラブ連絡協議会役員会の協議より一部抜粋)

- 登録申請書類の書き方について、県に**ひな形**を示してほしい。
- 登録申請書類の作成等、これ以上**事務作業**が増えると、担い手がいない。
- 具体的な**メリット、デメリット**を提示してほしい。
- 国からの**メリット・デメリット**の提示を待つのではなく、自分達で**メリット**を考えていくべき。

### スポーツ団体ガバナンスウェブサイト(仮称)

『自分達は、スポーツ庁の示す「一般団体向けガバナンスコード」を遵守して活動する団体である』ことを、国民に**説明・公表するための仕組み**として、JSCが**R3年3月**からウェブサイトの運用を開始する予定です。



※今後、

- 登録・認証制度を受けるクラブ
- R3年度以降、toto助成事業を活用するクラブは、ウェブサイトでの公表が必須となります!



詳細はこちらから(JSC ホームページ)  
<https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoyumu/tabid/966/Default.aspx>

### SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

競技者の盗撮、性的目的の写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿などの卑劣な行為を防止するため、JSPOやJOC、日本中学校体育連盟など、日本のスポーツを統括する7団体が声明を出しました。



クラブのホームページや大会・教室の会場に掲示するなど、活用ください!



チラシデータ(jpeg)のダウンロードはこちらから  
<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4254>

# 新型コロナウイルス感染症について

## R2年10月～R3年1月までの流れ

<ul style="list-style-type: none"> <li>○香川県は「準感染警戒期」。</li> <li>○スポーツ庁より「来年2月末までの催物の開催制限等について」通知。</li> <li>→催物を、大声での歓声・声援がある／ないものに分類し、それぞれにあった対策が提示される。</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内感染者が100名を突破。</li> <li>○香川県は「準感染警戒期」。</li> </ul>
<p>感染予防対策を徹底しつつ、定期教室を実施</p>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内感染者が300名を突破。</li> <li>○香川県の警戒レベルが「感染警戒期」に引き上げられる。</li> <li>○スポーツ庁から各都道府県スポーツ主管課へ「催物の開催制限等」について通知</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内感染者が500名を突破。</li> <li>○香川県の警戒レベルが「感染拡大防止対策期」に引き上げられる。</li> <li>○1/8、4都県を対象に二度目の緊急事態宣言が発令(1/14、7府県追加)</li> </ul>	12月	<p>定期活動を一部休止するクラブが出はじめる</p>
<p>定期活動は継続、大会やイベントは中止／延期</p>	1月	

1. 感染予防対策期	2. 準感染警戒期	3. 感染警戒期	4. 感染拡大防止対策期	5. 感染拡大防止集中対策期	6. 緊急事態対策期
感染者が確認されていないか、抑制できている。	一定数の感染者が確認されている。	一定の感染者が確認されており、感染者が拡大する恐れがある。	感染者が拡大している。	感染者が急増している。	爆発的な感染の拡大が続いている。(国の緊急事態宣言の対象区域に指定されることを想定)

今ここ！(R3年1月現在)

- 不要不急の外出・移動は、**県内外を問わず**慎重に検討する。
- 県内の**クラスター発生施設**や同施設のうち「業種別ガイドライン」等を遵守していない施設への外出自粛の要請を検討する。
- 直近1週間の**10万人あたり新規感染者数が5人以上**の感染拡大地域への不要不急の移動は慎重に検討する。



各警戒レベルに応じた対策についてはこちらから。  
PDF1枚にまとめられています。  
[https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/19594/wx6qft201120205111\\_f14.pdf](https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/19594/wx6qft201120205111_f14.pdf)



### 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

R3年1月22日現在、ダウンロード数は約2408万件となっています。  
スマートフォンをお持ちの方は、いざという時のために、インストールをオススメします。



詳しくは、厚労省ホームページから。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

## スポーツ庁「地域部活動推進事業」について

R5年度からの、休日の部活動の段階的な地域移行を目指し、R3～4年度にかけて実践研究が行われます。

R3年度は、1都道府県につき1市1町村で実践研究を行うための予算がつき、香川県においても、各市町教育委員会と協議しつつ、実施自治体を決定する予定です。

- スポーツ庁R3年度概算要求主要事項

(「地域部活動推進事業」は21～22ページに記載あり)

[https://www.mext.go.jp/sports/a\\_menu/kaikai/detail/1420681\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/a_menu/kaikai/detail/1420681_00001.htm)

- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop04/list/detail/1406073\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/detail/1406073_00003.htm)

**地域運動部活動推進事業**

I. 休日の部活動の段階的な地域移行

実証研究の実施

- ＜主な実践課題＞
  - 地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築
  - 生徒への適切な指導に必要な地域人材の研修の実施
  - 平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制の構築
  - 費用負担の在り方の整理
  - 地域部活動の運営団体の確保 等

II. 合理的で効率的な部活動の推進

生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動と学校の働き方改革の両立を実現

